

5月10日 3年生演習林実習（間伐）

3年生の間伐実習を本校演習林にて行いました。間伐とは健全な森林を維持するために行う間引き作業のことで、今回は成長が劣っている樹木を選んで伐採する「下層間伐」を主に行いました。樹木を伐採する作業は危険が伴いますが、安全確保の重要性や仕事を行う上でのチームワークの大切さを学ぶことが出来ました。



実習を行う前の諸注意。まずは「安全第一」



間伐する樹木を探しています。（密度が高すぎる・曲がっている など）



安全に伐採するために「受け口」を切っています。「受け口」を切った状態。切口の方向に倒します。



「受け口」の反対から「追い口」を切って伐倒。



豪快な音を立てて倒れる杉。間伐において一番緊張する瞬間ですが達成感も高いです！



中心付近の引きちぎられた跡が「つる」と呼ばれ倒れる際の方向とスピードをコントロールします。



間伐材を有効活用するために必要な寸法にカットする「玉切り」を行っています。



玉切りした間伐材を林外に搬出します。すごく重たいですが、チームで協力して行います。



水分が多いうちに樹皮を除去します。スムーズにはがれると楽しいです！



後々の加工で邪魔になる節の部分をノコギリで除去。女子もがんばっています！



下処理完了。しっかり乾燥して加工材料としてガーデニング専攻生や森林環境部が有効活用します。

利用実績（一部抜粋）



森林環境部作製「スマートフォン立て」。

※写真のスマホは職員のものです。

森林環境部は木工品の企画・作製を主に行う環境創造科ならではの部活動です。作製した作品は文化祭や各種イベントで販売を行います。



諫農肥前太鼓部で用いる「桶太鼓用ヒノキバチ」

「桶太鼓」と呼ばれる太鼓の専用バチです。通常の太鼓より革が薄いものを利用しているため、軟らかいヒノキの間伐材を利用しています。



ガーデニング専攻生が課題研究で作製する竹垣の柱にスギの間伐材を利用しています。竹材についても生徒が伐採・加工を行っています。